

健康生活科学研究科

○ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、各授業科目、アドミッションポリシーの対応

ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	各授業科目	アドミッションポリシー
<p>①保健・医療・社会福祉の専門職者として必要な高い倫理観と論理的思考力をもち、Well-beingの向上に寄与する研究を自立(自律)して行える。</p>	<p>①Well-beingの向上に貢献する保健・医療・社会福祉の専門職者に必要な基礎的・倫理的な素養を寛容するために、「健康生活科学特論」「研究倫理特論」を必修の共通科目として設定する。</p>	<p>共通科目： 健康生活科学特論 研究倫理特論 (詳細はシラバスに記載。以下同様)</p>	<p>①社会のWell-beingを向上し、地域の保健・医療・福祉活動に貢献したい人</p>
<p>②生涯にわたり研鑽に必要な看護学・社会福祉学・健康基礎科学に精通し、高度な専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる。</p>	<p>②健康基礎科学領域あるいは健康生活探求領域の基盤となる理論と知識を学修し、健康生活科学の教育指導が展開できるよう「健康科学特論」「健康福祉学特論」を専門科目として設定する。</p>	<p>専門科目： [健康基礎科学領域]健康科学特論 専門科目： [健康生活探求領域]健康福祉学特論</p>	<p>②実践現場の課題対策に使命感をもち、論理的に探究し研究成果を社会実装に繋げたい人</p>
<p>③保健・医療・社会福祉が提供される場に関する多様な要因を把握して、保健・医療・社会福祉提供システムの改善・改革を目指した研究を指導できる。</p>	<p>③保健・医療・社会福祉が提供される場における多様な課題を見出し、解決していくための研究方法について演習(ゼミ)形式で追及し、学位論文への取り組みに導くよう(リサーチワークへ繋がるよう)健康基礎科学領域では、「看護実践開発演習」「健康バイオマーカー演習」を、健康生活探求領域では、「保健医療</p>	<p>専門科目： [健康基礎科学領域] 看護実践開発演習 健康バイオマーカー演習</p>	
<p>④地域の健康生活課題を把握し、地域のニーズに合った保健・医療・社会福祉施策の進展に向けた研究の取り組みができる。</p>	<p>④地域の健康生活課題を把握し、地域のニーズに合った保健・医療・社会福祉施策の進展に向けた研究の取り組みができる。</p>	<p>専門科目： [健康生活探求領域]保健医療福祉演習 地域包括ケア演習</p>	

	福祉演習」「地域包括ケア演習」を設定する。		
⑤保健・医療・社会福祉の専門分野における多様かつ複雑な問題の研究的解明とその成果を適用しつつ、属する組織や地域を超えて多職種と連携した研究活動を推進できる。	④学位論文の研究に多様な視点で計画的に取り組むために、専門科目と「特別研究科目」を設定する。 ⑤学修成果の評価は、科目毎に成績評価の方法を設定し、シラバスに明示する。	特別研究科目： 健康基礎科学特別研究 健康生活探求特別研究	③専門的知識と実践力の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組む意欲のある人